

～食べるしあわせをみんなで分かち合おう～

コープデリ
にいがた
編集委員会発

「フードドライブ」活動を ご存じですか？



「フードドライブ」ってどんな意味？

どんなことをしているの？という声を耳にします。そこで今回は、コープデリにいがたの「フードドライブ」活動についてご紹介します。

フードドライブとは？

フードドライブは、家庭や企業で余っている食品を持ち寄り、それらをまとめて**フードバンク**などに寄付する活動のことです。食品ロス削減のための取り組みであるとともに、福祉の面からは、ひとり親家庭・生活に困っているが頼る人がいない人・学生などに無償で食料を届けるという重要な役割を果たしています。

フードバンクとは？

品質に問題がなく、まだ食べられるのにさまざまな理由で廃棄せざるを得ない食品を個人や企業などから無償で提供してもらい、食の支援を必要としている施設や団体、生活困窮者の方々に無償で届ける活動を行っている団体のことです。

コープデリにいがたも
活動しているんだ！

編集委員

コープデリにいがたの「フードドライブ」活動

コープデリにいがたでは、エリア委員を中心としたフードドライブの活動が行われています。今回はその活動について、中丸理事と馬場理事にお話を伺いました。

活動について教えてください

春と秋の総代会議や各地域でのほぺたんカフェやイベントの場で、組合員さんから寄付していただいたものを、エリア委員が各地域にあるフードバンクに届けています。昨年は食品や日用雑貨品、未使用文具などをお預かりし、お届けしました。

どんなものを寄付すればいいですか？

賞味期限が2カ月以上残っているもの、包装・外装が破損していない未開封のもの、常温で保存できるもの、日用品、衛生用品、未使用の文具の寄付をお願いします。食品だとお米や飲料、レトルト食品、お菓子、調味料、食用油などです。お子さんが安心して食べられるものか、期限が切れていないものかは必ずチェックをしてください。また、アルコール類や手作り品の寄付はできません。

マスクや生理用品、
オムツなども喜ばれます！



フードドライブは身近で簡単にできるボランティア活動として、
どんどん広がっています。一緒にその輪を大きくしていきましょう。



中丸 瑠美さん(左)
組合員理事
馬場 真由美さん(右)



▲春の総代会議でご寄付いただいた食料品をフードバンクかも・たがみさんにお渡ししました。道の駅たがみでは毎月第2、第4日曜日にフードドライブ会場を設け実施しています。

◀組合員の皆さまからご寄付いただいた品物を必要とされる方々にお届けします。地域で支え合う温かいお気持ちに感謝いたします。フードバンクなおかさんへお渡ししました。

寄付したものはどこにいきますか？

私の家にもあるわ
行動しなくちゃ！
編集委員

セールでたくさん
買いすぎちゃった！
どうしよう？

お預かりします

よろしくお願いします

ありがとう



組員さん



エリア委員



フードバンク



ひとり親家庭
児童養護施設
生活困窮者など

組員さん

→ イベントや総代会議など

→ フードバンク

→ 必要としている人

私たちエリア委員は この活動を大切にしています



▲研修で学んだことを各グループでまとめました

2025年10月に開催した「エリア委員アクティブ研修」に、特定非営利活動法人 新潟県フードバンク推進協議会の山下浩子理事長と小林淳事務局長を講師（右写真）にお迎えし、フードバンクの現状と取り組みについて研修を行いました。

学んだことを発表！▶



研修のテーマ

フードバンクの
現状と取り組み
～地域活動への生かし方～

～エリア委員の感想～

孤立や貧困で
生活の厳しい世帯の多さと、
子どもが巻き込まれている
現実を知り、心が
締め付けられました



夏休みは給食がないために、10倍近くの
SOSがくること、子どもの進路を諦めたり、
我慢をさせなければならないことは、
親にも子どもにも、
とても辛いことだと思いました



ボランティアの方々の強い志、
信念のもとにこの活動が行われている
ということがよく分かりました。
私ができることは何かを考え、
今、動かなくてはと思いました



他にもこんな活動をやっています

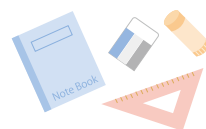
未使用文具

田上町・道の駅たがみ・アルビレックス新潟と連携して、文具を必要としている子どもたちへ、新潟県フードバンク推進協議会を通じてお届けしています。



▲未使用文具贈呈式 2026年3月

2025年度は13,153点、
508.7kgを新潟県フード
バンク推進協議会に寄
贈しました。



その他、ノートやのり、
消しゴムや定規など
たくさん集まりました

食材支援

コープデリにいがたでは、宅配で発生した余剰品やキャンセル品、大雪等でお届けできなかった食品など（右写真：2022年12月）を無駄にせず、地域の必要とする方々へ届ける「食材支援」を行っています。この取り組みは、入荷時の予備分を含めた食品ロスの削減と地域貢献をめざし、フードバンクを通じて実施しています。現在は子ども食堂へ食材を、またフードバンクには食材のほか日用雑貨品なども提供しています。



知らなかった！
食材を無駄にしない
のは大事だね
編集委員

